

報道発表資料
令和5年6月13日
国立国会図書館

国際子ども図書館展示会「世界をつなぐ子どもの本— 2020年国際アンデルセン賞・IBBY オナーリスト図書展」 の開催について



国立国会図書館国際子ども図書館は、7月25日（火）から展示会を開催します。

この展示会では、2020年の国際アンデルセン賞受賞者のこれまでの諸作品、IBBY（国際児童図書評議会）オナーリスト（推薦図書リスト）の掲載作品とその邦訳書、あわせて約200冊を直接手に取ってご覧いただけます。この機会に是非、世界各国の子ども本をじっくりとお楽しみください。

【お問合せ先】国立国会図書館 国際子ども図書館
企画協力課 03-3827-2041(直通)

【展示会開催概要】

会 期	2023年7月25日（火）～9月3日（日）
開館時間	9時30分～17時
休館日	毎週月曜日、8月11日（金・祝）、8月16日（水）
会 場	国立国会図書館国際子ども図書館レンガ棟3階 ホール
入 場 料	入場無料
ホームページ	https://www.kodomo.go.jp/event/exhibition/tenji2023-02.html

展示を理解するための3つのポイント

① IBBY とは

IBBY(International Board on Books for Young People : 国際児童図書評議会) は、1953 年、子どもの本を通して国際理解を促進する目的で創設されました。現在は 80 以上の国と地域が加盟し、子どもと本を結ぶ活動に携わる人々の国際ネットワークになっています。

② 国際アンデルセン賞とは

1956 年に始まった国際的な児童文学賞で、小さなノーベル賞とも称されています。IBBY から 2 年に一度、児童文学の分野で卓越した業績をあげた現存の作家と画家に贈られています。2020 年はジャクリン・ウッドソン氏 (アメリカ合衆国) が作家賞を、アルベルティーマ氏 (スイス) が画家賞を受賞しました。

③ IBBY オナーリストとは

IBBY が隔年で作成する推薦図書リストです。作成に当たっては、IBBY の各国支部が、自国で新たに出版された児童書の中から外国に紹介したい作品を選ぶことになっています。「文学作品」、「イラストレーション作品」、「翻訳作品」の3部門から成り、2020 年は世界の 60 の国と地域から 179 作品が選ばれました。

【日本からの選出作品】

◆文学作品部門

梨屋アリエ 作『きみの存在を意識する』ポプラ社, 2019.8

◆イラストレーション作品部門

たむらしげる 作『よるのおと』偕成社, 2017.6

◆翻訳作品部門

西村由美 訳『青い月の石』岩波書店, 2018.2

※この展示会は IBBY の日本支部である JBBY(日本国際児童図書評議会)の巡回展です。各地の開催スケジュールは JBBY ホームページでご確認ください。

JBBY ホームページ <https://www.jbby.org/>